



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月8日

上場会社名 株式会社ジャムコ 上場取引所 東  
 コード番号 7408 URL <https://www.jamco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部 俊之  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 後藤 健太郎 (TEL) 042-503-9145  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	27,243	59.9	780	177.4	463	30.6	960	46.6
2023年3月期第2四半期	17,042	△7.8	281	—	354	—	655	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,215百万円(30.3%) 2023年3月期第2四半期 933百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	35.80	—
2023年3月期第2四半期	24.42	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	105,407	14,620	13.5
2023年3月期	100,794	13,383	12.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 14,209百万円 2023年3月期 13,019百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,800	52.0	5,000	188.4	3,200	183.9	2,280	4.9	85.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	26,863,974株	2023年3月期	26,863,974株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	24,852株	2023年3月期	39,089株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	26,830,987株	2023年3月期2Q	26,825,004株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

当社は、2023年11月22日に機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、当社コーポレートサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、経済・社会活動の正常化により回復基調を維持しているものの、ウクライナ問題の長期化によるエネルギー価格の変動や原材料価格の上昇、世界的なインフレによる金利上昇などから景気後退局面への懸念などにより、依然として不透明な状況が続きました。このようななかで、ドル円為替相場は対米ドル円レート131円台から149円台で推移しました。

航空輸送業界では、新型コロナウイルス感染症の鎮静化により旅客需要が回復し、エアラインでは大口の機体発注などの動きが見られ、これを受けて航空機メーカーは機体の増産に取り組んでいます。一方で、機材の運航や空港施設、加えて機体製造に係わるサプライチェーン全体においては人材不足となり、人材確保が急務となっています。

このようななかで当社グループでは、2030年におけるジャムコグループのあるべき姿、進むべき方向性を明文化したJAMCO Vision 2030を実現するための三本柱として、JX：ジャムコ・トランスフォーメーション（業務改革）、SX：サステナビリティ・トランスフォーメーション、HRX：ヒューマンリソース・トランスフォーメーションのタスクチームを設置して、当社業務の基礎課題を解決すべく推進体制の強化を行いました。

航空機内装品等製造関連においては、航空旅客需要の回復に伴い、航空機メーカーの増産やエアラインのスペアパーツ需要の増加に対応すべく、増産体制強化に取り組みました。又、製造工程においては、グループ全体の経営資源の有効活用、効率化・合理化による経営基盤の強化を図るため、国内子会社の統合を決定し、その準備を進めると共に、フィリピン工場の能力・機能拡張計画や国内外のサプライチェーンの強靱化に取り組みました。

航空機シート等製造関連においては、ボーイング787型機以外の他機種展開に取り組んできたビジネスクラス・シート「Venture」がKLMオランダ航空のボーイング777型機のワールドビジネスクラスシートに初めて採用され、運航が開始されました。又、米国におけるインフレーションへの対策として一部の組立業務をメキシコへ移管するなどコスト削減に取り組みました。

航空機器等製造関連においては、生産性改善の取組みを行うと共に、熱可塑性CFRP（炭素繊維強化プラスチック）を活用した航空機用軽量機体部材の開発やCFRP部材の航空機分野以外への展開を進めました。

航空機整備等関連においては、飛行安全の確保と品質向上の取組みを継続すると共に、エアライン、官公庁向け整備の受注に努め、安定した収益を上げるため事業基盤の強化に取り組みました。更に、無人航空機（ドローン）に対する運用サポートなどの新規事業分野への取組みも開始しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高 27,243百万円（前年同四半期比 10,200百万円増）、営業利益 780百万円（前年同四半期比 499百万円増）、経常利益 463百万円（前年同四半期比 108百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益 960百万円（前年同四半期比 305百万円増）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末に第3四半期連結会計期間以降の完成工事に対する工事損失引当金を 4,682百万円計上しております。この工事損失引当金による期間損益への影響は、当第2四半期連結会計期間において売上原価 39百万円の増加（第1四半期連結会計期間末の工事損失引当金は 4,643百万円）、又、当第2四半期連結累計期間においては売上原価 402百万円の増加（2023年3月期末の工事損失引当金は 4,280百万円）となりました。

グループ全体の販売費及び一般管理費、営業外損益、法人税等調整額の状況は次のとおりです。

販売費及び一般管理費は、販売手数料、人件費及び試験研究費の増加などにより 4,467百万円（前年同四半期比 673百万円増）となりました。

営業外損益は、米国ドル金利の上昇により支払利息が増加したことなどから 317百万円の損（前年同四半期は、73百万円の益）となりました。

法人税等調整額は、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産の計上により△666百万円（前年同四半期は、△458百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

[航空機内装品等製造関連]

当事業では、ボーイング787型機向け製品の出荷が再開したことや運航機数の増加によりエアライン向けスペアパーツ販売が増加したことなどから、前年同四半期に比べ売上高は増加しました。又、経常利益については、利益率の高いスペアパーツ販売の増加に加え、外貨建て売上高の円安による効果などから増加しました。

この結果、航空機内装品等製造関連は、売上高 17,369百万円（前年同四半期比 6,560百万円増）、経常利益 3,202百万円（前年同四半期比 1,104百万円増）となりました。

[航空機シート等製造関連]

当事業では、ボーイング777型機向けビジネスクラス・シート「Venture」の出荷が開始されたことなどから、前年同四半期に比べ売上高は増加しました。一方、経常損益については、他機種展開に伴う初期費用の増加、米国におけるインフレーションや円安によるドル建てコストの上昇などにより経常損失となりました。

この結果、航空機シート等製造関連は、売上高 3,950百万円（前年同四半期比 3,489百万円増）、経常損失 2,690百万円（前年同四半期は、経常損失 1,696百万円）となりました。

[航空機器等製造関連]

当事業では、熱交換器等装備品の出荷が増加したことから前年同四半期に比べ売上高は増加しました。一方、経常損益については、原価高の影響などにより経常損失となりました。

この結果、航空機器等製造関連は、売上高 2,205百万円（前年同四半期比 40百万円増）、経常損失 151百万円（前年同四半期は、経常損失 101百万円）となりました。

[航空機整備等関連]

当事業では、機体整備において完成工事が増加したことなどから前年同四半期に比べ売上高は増加しました。又、経常利益については、売上高の増加などにより増加しました。

この結果、航空機整備等関連は、売上高 3,715百万円（前年同四半期比 109百万円増）、経常利益 102百万円（前年同四半期比 50百万円増）となりました。

[その他]

その他の区分には、連結子会社の株式会社オレンジジャムコの事業を含んでおり、当社施設内の清掃及び補助的作業等セグメント間の内部取引が中心です。

この結果、その他の区分では、売上高 1百万円（前年同四半期比 0百万円増）、経常利益 0百万円（前年同四半期比 2百万円減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産・負債・純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は105,407百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,612百万円増加しました。内、流動資産については、受取手形、売掛金及び契約資産の減少(前期末比2,143百万円減)等がありましたが、仕掛品の増加(前期末比3,658百万円増)、原材料及び貯蔵品の増加(前期末比985百万円増)等により流動資産合計で前連結会計年度末に比べ3,700百万円増加しました。又、固定資産については、無形固定資産の増加(前期末比211百万円増)等により固定資産合計で前連結会計年度末に比べ912百万円増加しました。負債合計は90,786百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,375百万円増加しました。主な要因は、円安による短期借入金増加(前期末比2,034百万円増)等によるものです。

純資産合計は14,620百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,236百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益などによる利益剰余金の増加等によるものです。この結果、自己資本比率は13.5%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の増減は、以下に記載のキャッシュ・フローにより、194百万円キャッシュ・アウトフローとなりました。

## [営業活動によるキャッシュ・フロー]

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、774百万円のキャッシュ・インフローとなりました。これは、棚卸資産の増加があったものの、売上債権の減少、税金等調整前四半期純利益等によるものです。

## [投資活動によるキャッシュ・フロー]

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、745百万円のキャッシュ・アウトフローとなりました。

## [財務活動によるキャッシュ・フロー]

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、816百万円のキャッシュ・アウトフローとなりました。これは、金融機関からの長期借入返済等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、2023年5月12日に公表した連結業績予想値に対して、利益面の進捗は想定を上回りました。これは、運航機数の増加に伴い航空機内装品等製造関連におけるスペアパーツ販売が増加したことや、為替レートが想定より円安で推移したことなどによるものです。

現時点において、連結業績予想の前提となる為替レートは130円/米ドルから変更しておらず、連結会計年度の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,334,303	8,260,315
受取手形、売掛金及び契約資産	17,615,106	15,471,417
商品及び製品	1,611,483	2,527,985
仕掛品	26,231,269	29,889,839
原材料及び貯蔵品	20,890,021	21,875,911
その他	2,681,843	3,045,079
貸倒引当金	△42,366	△48,378
流動資産合計	77,321,661	81,022,169
固定資産		
有形固定資産	11,590,565	11,587,705
無形固定資産	1,807,682	2,018,912
投資その他の資産	10,074,709	10,778,549
固定資産合計	23,472,956	24,385,167
資産合計	100,794,618	105,407,336
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,719,765	5,805,686
電子記録債務	2,997,441	4,307,140
短期借入金	50,022,940	52,057,160
1年内返済予定の長期借入金	1,060,000	60,000
未払法人税等	700,808	221,617
前受金	8,374,234	8,459,650
賞与引当金	1,237,674	1,292,661
工事損失引当金	4,280,336	4,682,741
その他	3,638,895	3,699,786
流動負債合計	77,032,097	80,586,445
固定負債		
長期借入金	1,250,000	1,220,000
退職給付に係る負債	6,702,461	6,640,311
損害補償損失引当金	972,797	1,089,643
製品保証引当金	1,166,789	980,337
その他	286,896	270,239
固定負債合計	10,378,944	10,200,532
負債合計	87,411,041	90,786,977



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,359,893	5,359,893
資本剰余金	4,318,925	4,328,358
利益剰余金	2,819,869	3,780,487
自己株式	△31,405	△19,966
株主資本合計	12,467,283	13,448,772
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176,474	175,457
繰延ヘッジ損益	-	△15,915
為替換算調整勘定	424,767	648,874
退職給付に係る調整累計額	△48,564	△47,307
その他の包括利益累計額合計	552,677	761,109
非支配株主持分	363,616	410,477
純資産合計	13,383,576	14,620,359
負債純資産合計	100,794,618	105,407,336

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	17,042,796	27,243,025
売上原価	12,967,715	21,995,174
売上総利益	4,075,081	5,247,850
販売費及び一般管理費	3,793,750	4,467,419
営業利益	281,330	780,430
営業外収益		
受取利息	13,984	50,501
受取配当金	2,009	2,346
為替差益	627,198	403,331
持分法による投資利益	-	40,738
受取保険金	7,932	30,521
助成金収入	34,126	57,711
その他	24,435	22,762
営業外収益合計	709,686	607,912
営業外費用		
支払利息	469,691	779,754
持分法による投資損失	35,207	-
売掛債権譲渡損	22,539	91,016
支払補償費	8,765	27,062
その他	99,915	27,161
営業外費用合計	636,120	924,995
経常利益	354,897	463,348
特別利益		
助成金収入	117,092	-
特別利益合計	117,092	-
特別損失		
固定資産処分損	4,120	12,051
新型コロナウイルス感染症関連損失	75,165	-
特別損失合計	79,286	12,051
税金等調整前四半期純利益	392,703	451,296
法人税、住民税及び事業税	194,843	153,892
法人税等調整額	△458,475	△666,925
法人税等合計	△263,631	△513,032
四半期純利益	656,335	964,329
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,166	3,711
親会社株主に帰属する四半期純利益	655,169	960,617

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	656,335	964,329
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,291	△1,017
繰延ヘッジ損益	-	△15,915
為替換算調整勘定	303,746	267,256
退職給付に係る調整額	△13,418	1,257
その他の包括利益合計	277,036	251,581
四半期包括利益	933,371	1,215,910
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	873,337	1,169,050
非支配株主に係る四半期包括利益	60,034	46,860

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	392,703	451,296
減価償却費	1,048,318	862,671
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△96,925	△62,275
引当金の増減額(△は減少)	300,303	392,075
受取利息及び受取配当金	△15,993	△52,847
支払利息	491,981	779,754
為替差損益(△は益)	453,458	366,485
持分法による投資損益(△は益)	35,207	△40,738
新型コロナウイルス感染症関連損失	75,165	-
助成金収入	△117,092	-
売上債権の増減額(△は増加)	4,751,723	2,418,964
棚卸資産の増減額(△は増加)	△6,764,398	△4,404,689
仕入債務の増減額(△は減少)	△48,421	2,252,714
前受金の増減額(△は減少)	△302,291	△603,088
その他	△855,968	△285,255
小計	△652,229	2,075,068
利息及び配当金の受取額	15,923	52,408
利息の支払額	△455,927	△776,350
法人税等の支払額	△11,587	△576,651
法人税等の還付額	5,841	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,097,979	774,475
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△393,365	△324,713
有形固定資産の売却による収入	2,454	466
投資有価証券の取得による支出	△537	△610
貸付けによる支出	△1,840	-
貸付金の回収による収入	2,326	2,441
定期預金の増減額(△は増加)	△133,970	42,300
その他	△148,264	△465,224
投資活動によるキャッシュ・フロー	△673,197	△745,340
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	40,815,810	34,412,480
短期借入金の返済による支出	△37,484,730	△34,073,980
長期借入金の返済による支出	△630,000	△1,030,000
リース債務の返済による支出	△175,873	△124,499
自己株式の取得による支出	△56	-
配当金の支払額	△9	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,525,140	△816,024
現金及び現金同等物に係る換算差額	722,946	592,563
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,476,909	△194,326
現金及び現金同等物の期首残高	8,174,344	6,958,841
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,651,253	6,764,515

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機 整備等関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,809,352	461,069	2,164,574	3,606,595	17,041,591	1,205	17,042,796
セグメント間の内部 売上高又は振替高	187,059	-	1,788	18,538	207,385	59,744	267,129
計	10,996,411	461,069	2,166,362	3,625,133	17,248,977	60,949	17,309,926
セグメント利益 又は損失(△)	2,098,008	△1,696,903	△101,497	52,786	352,393	2,503	354,897

(注) 「その他」の区分には、関係会社の㈱オレンジジャムコの事業を含んでおります。㈱オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、主に当社施設内の清掃及び補助的作業を行っております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	352,393
「その他」の区分の利益	2,503
四半期連結損益計算書の経常利益	354,897

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機 整備等関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,369,593	3,950,872	2,205,285	3,715,948	27,241,699	1,326	27,243,025
セグメント間の内部 売上高又は振替高	139,629	-	307	19,867	159,804	67,053	226,858
計	17,509,222	3,950,872	2,205,593	3,735,815	27,401,503	68,379	27,469,883
セグメント利益 又は損失(△)	3,202,282	△2,690,641	△151,567	102,967	463,041	307	463,348

(注) 「その他」の区分には、関係会社の㈱オレンジジャムコの事業を含んでおります。㈱オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、主に当社施設内の清掃及び補助的作業を行っております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	463,041
「その他」の区分の利益	307
四半期連結損益計算書の経常利益	463,348

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。